

授業科目	担当教員	開講年次	単位数	時間 (1単位中)	授業形態
老人看護学 I	赤塚秀史	2年次前期	1	15	講義
授 業 目 標					
老年看護において果たすべき役割意識を高め、健康に障害をもつ高齢者及びその家族の状態の特徴とその看護を学ぶ。					
回	授 業 計 画				
1・2	健康逸脱からの回復を促す看護 1. 症候のアセスメントと看護 (発熱・痛み・かゆみ・脱水・嘔吐・浮腫・倦怠感・褥瘡・スキンケア)				
3・4	健康逸脱からの回復を促す看護 1. 高齢者の身体疾患の特徴と看護 ・虚血性心疾患・高齢者肺炎・胃・十二指腸疾患・電解質異常・貧血・緑内障 ・白内障・感染症・薬剤性腎障害・骨粗鬆症・皮膚掻痒症				
5	治療を必要とする高齢者の看護：高齢者と薬 1. 高齢者の安全な薬物療法 1) 高齢者の薬物療法の原則 2) 高齢者で注意すべき薬物有害事象 2. 高齢者で注意すべきおもな薬物 3. 服薬管理能力のアセスメントと服薬支援 1) 服薬管理能力のアセスメント 2) 服薬支援				
6	治療を必要とする高齢者の看護：入院治療 1. 入院治療を受ける高齢者の看護 1) 治療を担う医療施設の状況 2) 入院に伴う環境の変化と高齢者への影響 2. 検査を受ける高齢者の看護 3. 入院環境の変化により起こりやすい特徴とその対応 4. 退院を困難にする要因 5. 地域連携における退院時の看護 6. 外来における看護				
7	生活・療養の場における看護 1. 高齢者とヘルスプロモーション 1) 健康日本21と介護予防 2) 介護予防とヘルスプロモーション 3) 「はみ慣れに場所」を取戻す」を表現する地域包括ケア 2. 保健医療福祉施設および居住施設における看護 1) 介護保険施設 2) 地域密着型サービス 3. 治療・介護と必要とする高齢者を含む家族の看護				
8	評価				
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院(第6章A・B 第7章B・E 第9章) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護病態・疾患論(第4章C～N・第5章)				
参考図書	国民衛生の動向 老年看護ぜんぶガイド：プチナース2020年5月臨時増刊号 レビューブック				
評価方法	出席状況・試験				

授業科目	担当教員	開講年次	単位数	時間 (1単位中)	授業形態
老年看護学Ⅰ	湧上 真粧美	2年次前期	1	15	講義・演習
授 業 目 標					
老年期の特徴を踏まえて、その人らしく自立した生活を営むために必要な支援を学ぶ。					
授業の概要	回	授 業 計 画			
	1	高齢者の特徴	老年看護学概論にて探索したAさん80歳男性 1. 身体的、社会的、心理的特徴 2. フレイルの状態であるAさんが置かれている状況を知る		
	2・3	Aさんが置かれている状況	1. 家族背景 2. コミュニケーション 3. 食事 4. 排泄	5. 清潔 6. 生活リズム 7. 健康の状態	
	4	80歳男性の身体的・社会的・心理的状況の統合	1. 家族背景 2. コミュニケーション 3. 食事 4. 排泄	5. 清潔 6. 生活リズム 7. 健康の状態	
	・6・	80歳男性 自立した生活に必要な支援	1. 転倒 1) 高齢者が転倒しやすい要因・背景 2) 転倒予防のためのアセスメントと支援 2. コミュニケーションの特徴と関わり 3. コミュニケーションを阻害する要因のアセスメントと支援 (老人性難聴・老視・構音障害) 4. 食生活のアセスメント 1) 摂食・嚥下障害、低栄養状態を有する高齢者の看護 5. 誤嚥性肺炎の予防と援助 6. 脱水の予防と看護 7. 排泄障害とその特徴・アセスメント ・加齢による尿失禁・便秘・下痢の病態と要因 8. 高齢者に特徴的な清潔の変調 9. 生活リズムの変調 10. 睡眠と活動		
8		評価			
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院(第5章) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護病態・疾患論(第2章・第3章)				
参考図書	国民衛生の動向 老年看護ぜんぶガイド：プチナース2020年5月臨時増刊号 レビューブック				
評 価 方 法					
<p>高齢者疑似体験（演習）：リフレクションを行い、決められた期日に提出する。評価点は30点満点とする。</p> <p>科目終了試験：記述試験70点満点。</p> <p>総合評価：高齢者疑似体験・記述試験合計100点。60点以上で科目単位修得する。</p> <p>提出課題は、学生便覧に記載されている理由以外で期日前、後の提出は認めない。したがって、評価対象外となる。</p>					
備 考					
<p>第1・4回：パソコン準備してください。</p> <p>第2回：高齢者の生きた時代について、グループワークを実施。付箋・マーカー・クレヨンなど各自準備してください。</p> <p>第3回：グループごとに高齢者体験を実施。グループ内で体験に必要な物品を持参する。</p>					